

平成24年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400129	事業の開始年月日	平成19年6月1日	
		指定年月日	平成19年6月1日	
法人名	株式会社 ウイズネット			
事業所名	グループホーム みんなの家・横浜宮沢 3			
所在地	( 246-0038 ) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢4-28-8			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成24年10月10日	評価結果 市町村受理日	平成25年2月15日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpjDetails.aspx?JGNO=ST1493400129&amp;SVCD=320&amp;THNO=14100">http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpjDetails.aspx?JGNO=ST1493400129&amp;SVCD=320&amp;THNO=14100</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居者様のADL維持の為、健康体操・バルーン体操・太極拳体操を日替わりで行っている他、近所の公園まで散歩に出かけて、四季の移り変わりを肌で感じて頂いています。また、ご入居者様の意思を尊重し、習字や編み物や塗り絵など、個別レクにも取り組んでいます。この他にも、イベントを定期的開催しております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年11月13日	評価機関 評価決定日	平成25年1月31日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は相鉄線「いずみ野」駅よりバスで約8分の「ひなた山バザール前」バス停から住宅街を歩いて5分位の所にあります。周りは、住宅や畑、駐車場、公園などがある静かな環境です。

<優れている点>

「地域と共存した明るく楽しいホーム創り」との事業所理念を掲げて、地域との交流を積極的に図っています。事業所の「納涼祭」では、チラシを500～600枚作って、近隣の家にポスティングしました。その結果、事業所の駐車場での納涼祭のイベントの焼き鳥やお好み焼き、ヨーヨーつりなどの屋台は大盛況でした。その後の、管理者が講師となつての地域向けの勉強会「認知症とは」「グループホームとは」に地域の方も出席し理解を深めることが出来好評を得ています。

ADL低下防止のために「体操の時間」を毎日設けています。日替わりでバルーン体操、ラジオ体操第1、第2、太極拳、みんなの体操などがあり、職員と利用者が一緒に楽しく体を動かしています。日課としての体操というよりも、利用者同士のコミュニケーションの時間となるように支援しています。

<工夫点>

法人の他のグループホームと一緒に、年1回、合同食事会を遊水地公園で行っています。解放感あふれる外での食事は、利用者も楽しみにしています。リビングの壁に貼られたホワイトボードには当日の食事のメニューが書かれ、利用者、訪問された家族にも確認され、喜ばれています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム みんなの家・横浜宮沢 3
ユニット名	1U

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『地域と共存した 明るく楽しいホーム創り』を事業所理念に掲げ、管理者と職員が一丸となって、レクや体操などを行っている	法人の理念とは別に事業所の職員で話し合って事業所の理念を作っています。理念は事務所など目につく所に貼られ、職員はよく理解しています。明るく楽しく過ごすために、利用者は何を望んでいるかを職員は常に考えながら支援に取り組んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年1回、近隣の系列ホームの入居者様と食事会を行ない、交流を図っている	近隣の人とは、散歩時のあいさつなど日常的に交流をしています。すぐ近くのコンビニともいい関係を築いています。事業所の納涼祭では、色々な屋台を出し、近隣の人も集まって大盛況でした。その時に「認知症とは」等の勉強会も行い、好評でした。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所独自の新聞『宮沢3 ネット通信』を発行し、地域の方へ配布している		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長や地域包括のケアマネージャーより、様々なアドバイスを受け、それを事業所に持ち帰り、スタッフとともに実践に向けて取り組んでいる	2ヶ月に1回、町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族等が集まって、すぐ近くの系列のグループホームと合同で行っています。グループホームの活動報告を行い、問題点や改善点等を話し合っています。そこで出たアドバイスは支援に活かしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要時に区役所等に出向き、必要なアドバイスを受けたり、情報交換を行っている	瀬谷区の高齢障害支援課とは、密に連携を取り、情報交換をしています。困ったことなど相談をしたり、アドバイスを受けたりしています。事業所全体での外出時など、地域ケアプラザから車イスなど借りることもあり、協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	『身体拘束ゼロケア』を掲げ、事業所内でも「身体拘束廃止委員会」を月1回開催して、身体拘束廃止に向けて取り組んでいる	毎月のスタッフ会議の後に「身体拘束廃止委員会」を開催しています。資料の読み合わせをして勉強をしたり、事業所の中での気になったことなどを話し合ったりしており、職員一人ひとりが身体拘束の弊害について理解しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	『身体拘束廃止委員会』の中でも、虐待についても勉強会を行ない、虐待の防止に向けて取り組んでいる		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内の研修会に参加し、それを事業所内の研修等でフィードバックさせている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時に、疑問点や不安に思っている事をお尋ねし、可能な範囲でお答えし、ご家族様にご納得いただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等で、ご家族様からの意見や要望を聞き、それらを事業所運営に反映させている	2～3ヶ月に1回開催される家族会では色々な意見が出されます。家族の意見で、本日の食事のメニューが一目でわかるボードが作られました。これは利用者との会話のきっかけ作りに一役買っています。玄関の本日の出勤者の写真も意見以上に反映されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議等で、職員からの意見を聞き、それらを事業所運営に反映させている	全職員が一人30分位、法人の人事労務相談室の人と面談をします。そこで、意見や提案など話す事が出来、又、メンタルケアも受けられます。他にも、法人のスーパーバイザーが毎週事業所に来ておりサポートをしてくれています。職員の休憩時間等話し合っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員と、定期的に面談を行ない、職員1人1人が働きやすい事業所運営を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	時々、フロアに入り職員の動きなどをみて、適宜アドバイスや指導を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	『瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会』に参加し、同業他社の管理者との情報交換等を行っている		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	心配事や不安な事を傾聴し、不安の軽減をはかる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前面談や、入居時にご家族様より、心配事などを聞き、不安の軽減に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後暫くは、ご本人様も不安や周囲に対して遠慮がある為、職員側から声かけし、対応をしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事の中で、入居者様が出来る事はやって頂き、生活の中での役割を担っていただいている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン更新時に「ご家族様からの要望」という事でお聞きし、ケアプランを作成している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者さまによっては、入居前に、親交があったご近所さんやご友人などが、面会に来られている	日本舞踊の仲間が面会に来たり、家族とお墓まいりに行ったり、兄弟で旅行したり、前に住んでいた所に職員と一緒にいたり、よく行っていた喫茶店でお茶を飲むこともあります。利用者がこれまで大切にしてきた人間関係や場所の継続支援に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フロアでの座席も、気の合うご利用者様同士になるように配慮している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	「退居者リスト」を用いて、ご家族様や入居者様に定期的に手紙だなどを出している		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にあセスメント表を用いて、一人ひとりの要望の把握に努めている	利用者とのコミュニケーションを大切に して、一人ひとりの要望の把握に努 めています。特に、利用者のかくれている思 いを引き出すために、色々な事を提示し て、興味を示してもらうこと大事にして います。昔の写真から家族も知らない趣 味などが解ったこともあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前面談などで、ご本人様やご家族様から聞き取りを行い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	状況によって、1人ひとりに合った声かけを行ない、その方に合った生活スタイルを実践していただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にケアカンファレンスを開催し、入居者様の状態把握や今後のケアの方向性などを話し合っている	利用者の状態を観察しながら、話し合いを持っています。極力、利用者の要望を盛り込み、医師、看護師の意見も取り入れて、ケアプラン委員会で現状に即した介護計画を立てています。利用者の課題を明確にして、必要なサービスを提供しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランで用いているナンバリングを生活記録にも反映させている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在は行なえていないが、今後行えるように柔軟に対応していきたい		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在は行なえていないが、今後行えるように柔軟に対応していきたい		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関の往診の他、入居者様やご家族様の意向に沿って、外部受診にご家族様対応にて行かれている	入居時に本人・家族の希望によりかかりつけ医の支援もしています。適切な医療に向け、情報を交換し共有しています。月2回の協力医療機関の往診と毎週1回の看護師の訪問により健康管理がなされています。急変時の通院の送迎、付添いなどにも対応しています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の医療連携看護師の出勤日に、入居者様の個々の様子を報告し、必要に応じて、往診医等に連絡をとっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、介護サマリー等、必要な情報を提供し、退院時には、看護サマリー等、必要な情報を病院より頂いている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況に応じて、ご家族様との話し合いや、地域の方との情報交換の場を持ち、必要に応じて、医師等に報告している	重度化した場合のあり方について、入居時に重要事項説明書の中で指針が説明され、本人・家族の希望を確認しています。重度化した段階に応じて家族、職員、医師と話し合い、本人の希望とされる生活が可能となるよう、幅広く検討し、必要なサービスに取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、職員に周知徹底を図っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っているが、今後、地域の方にも参加していただけるように現在、検討中。	災害や事故の時の対応方法などわかりやすく記入された緊急時マニュアルが用意されています。日中の時間帯や夜間を想定した避難訓練や救助訓練を消防署も参加し、町内会長とともに実施しています。2階には一時避難の幅広いベランダがあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	動作1つ1つを、解りやすくきちんと説明する他、入居者様の名前を呼ぶ時には、「～様（さん）」と呼ぶ。	職員は利用者一人ひとりの個性に合わせて、特に入浴や排泄介助などプライバシーを損ねることのないよう、言葉かけに配慮しています。入居前の呼び名を希望される方もいます。起床時の衣服の選択など希望を表現できる自己決定の場面づくりも配慮しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	「～しませんか？」と話しかけ、ご本人様の意向を伺うようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活に支障のない範囲で就寝していただき、起床は個別に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時など、更衣する時の着衣の洗濯の他、個別に使いやすい化粧品などを使っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	会話をしながらの他のご利用者様と食事をされている他、下前や食器拭きなどの家事援助を可能な範囲で参加頂いている	本部の給食部が栄養バランスに配慮した献立表をもとに調理スタッフが調理しています。職員は利用者と一緒に盛り付けや準備をしています。壁の3枚のホワイトボードには当日の朝、昼、夕のメニューが書かれ、利用者も訪問した家族にも確認されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	給食部の栄養士が、栄養のバランスを考えた献立を作成している。嗜好にあわせた飲み物を準備している他、食事量や水分量の確認・記録を行なっている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	提携医療機関の歯科医師や歯科衛生士からのアドバイスの元、個別に行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、その方にあった排泄ケアを行っている	排泄パターンをもとに毎回のカンファレンスで一人ひとりの排泄傾向を確認し、表情や仕草から適切な誘導支援に努め、自立を目指しています。排泄の失敗時には何気ない声掛けし、状況に応じた支援をしています。便秘の予防には食物や散歩など配慮しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に至った原因を探り、その方にあった予防策を実践し、必要に応じて往診医に相談し、下剤を検討していく		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴剤を使用するなどして、楽しい入浴を心がけている他、気が合う入居者様どうしの同時入浴も行っている	週2回が基本ですが一人ひとりの生活習慣や気持ちを尊重し、希望に応じています。入浴嫌いな方には無理強いせず、有名な温泉の入浴剤入りの湯を見てもらったり、利用者同士で入浴しています。季節に合わせたゆず湯や菖蒲湯などで気分転換を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	使い慣れた寝具を使用してもらったり、入居者様の生活リズムや意思を尊重している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご入居者様の個別の服薬ファイルを開覧し、把握している他、気になる事は、往診医や薬剤師に聞いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中での役割を大切にしている他、趣味の再現の場を提供している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在、日常的には行なえていないが、定期的に外出の機会を設けている	時間や距離が短くても本人の希望を尊重して、外の空気にあたることを心がけ、近所の公園まで散歩したり、コンビニへ日用品や飲み物の買物に出かけています。年に数回の外食や近隣のグループホームとの野外における合同の食事会も楽しみにしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様からのご意向もあり、常時の所持は行っていないが、必要時に、必要な金額を預かり金から支出し、対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様の要望により、必要時に電話をかけたりに出来る様に援助を行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の飾り付けを行っている。また、フロアや居室の温度管理については、ご入居者様の様子を見て、適宜調整している	居室を両側にリビングは大きな窓ガラスからの日当たりがよく、広々として開放的な空間となっています。玄関には家族に便利な職員の写真が掲示され、2階への階段には行事に参加した楽しい写真で一杯です。広々としたトイレやリフト浴の浴室は清潔です。	窓際は日当たりがよく明るいですが、利用者がくつろいでいる室内の電気がやや弱く、手元が見にくいようです。現在改良を申請中とのことですが、早く改善が実現することを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室への自由な出入りと、自由に他のご利用者様への居室への訪問を勧めている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇やソファ、テレビ等、使い慣れた物を、入居時などにお持ちいただいている	居室は常備されたエアコン、タンス、クローゼットなどや使い慣れたテレビやソファの他、利用者の想いの込められた仏壇などが置かれています。壁にはレクレーションの作品や家族の写真などが飾られ、その人らしく、居心地よく過ごせるように工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所への手摺の設置や、車椅子用トイレの設置。また生活上、支障のない範囲での張り紙の設置		

平成24年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400129	事業の開始年月日	平成19年6月1日
		指定年月日	平成19年6月1日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホーム みんなの家・横浜宮沢 3		
所在地	( 246-0038 ) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢 4 - 2 8 - 8		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成24年10月10日	評価結果 市町村受理日	平成25年2月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpJDetails.aspx?JGNO=ST1493400129&SVCD=320&THNO=14100>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居者様の生活スタイルを尊重し、自尊心を傷つけないように心がけたケアを行っております。また、ご入居者様の意思を尊重し、習字や編み物や塗り絵など、個別レクにも取り組んでいます。この他にも、イベントを定期的開催しております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年11月13日	評価機関 評価決定日	平成25年1月31日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム みんなの家・横浜宮沢 3
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『地域と共存した 明るく楽しいホーム創り』を事業所理念に掲げ、管理者と職員が一丸となって、レクや体操などを行っている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年1回、近隣の系列ホームの入居者様と食事会を行ない、交流を図っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所独自の新聞『宮沢3 ネット通信』を発行し、地域の方へ配布している		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長や地域包括のケアマネジャーより、様々なアドバイスを受け、それを事業所に持ち帰り、スタッフとともに実践に向けて取り組んでいる		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要時に区役所等に出向き、必要なアドバイス等を受けたり、情報交換を行っている		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	『身体拘束ゼロケア』を掲げ、事業所内でも「身体拘束廃止委員会」を月1回開催して、身体拘束廃止に向けて取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	『身体拘束廃止委員会』の中でも、虐待についても勉強会を行ない、虐待の防止に向けて取り組んでいる		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内の研修会に参加し、それを事業所内の研修等でフィードバックさせている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時に、疑問点や不安に思っている事をお尋ねし、可能な範囲でお答えし、ご家族様にご納得いただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等で、ご家族様からの意見や要望を聞き、それらを事業所運営に反映させている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議等で、職員からの意見を聞き、それらを事業所運営に反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員と、定期的に面談を行ない、職員1人1人が働きやすい事業所運営を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	時々、フロアに入り職員の動きなどをみて、適宜アドバイスや指導を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	『瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会』に参加し、同業他社の管理者との情報交換等を行っている		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	心配事や不安な事を傾聴し、不安の軽減をはかる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前面談や、入居時にご家族様より、心配事などを聞き、不安の軽減に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後暫くは、ご本人様も不安や周囲に対して遠慮がある為、職員側から声かけし、対応をしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事の中で、入居者様が出来る事はやって頂き、生活の中での役割を担っていただいている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン更新時に「ご家族様からの要望」という事でお聞きし、ケアプランを作成している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者さまによっては、入居前に、親交があったご近所さんやご友人などが、面会に来られている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フロアでの座席も、気の合うご利用者様同士になるように配慮している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	「退居者リスト」を用いて、ご家族様や入居者様に定期的に手紙だなどを出している		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にあセスメント表を用いて、一人ひとりの要望の把握に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前面談などで、ご本人様やご家族様から聞き取りを行い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	状況によって、1人ひとりに合った声かけを行ない、その方に合った生活スタイルを実践していただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にケアカンファレンスを開催し、入居者様の状態把握や今後のケアの方向性などを話し合っている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランで用いているナンバリングを生活記録にも反映させている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在は行なえていないが、今後行えるように柔軟に対応していきたい		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在は行なえていないが、今後行えるように柔軟に対応していきたい		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関の往診の他、入居者様やご家族様の意向に沿って、外部受診にご家族様対応にて行かれている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の医療連携看護師の出勤日に、入居者様の個々の様子を報告し、必要に応じて、往診医等に連絡をとっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、介護サマリー等、必要な情報を提供し、退院時には、看護サマリー等、必要な情報を病院より頂いている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況に応じて、ご家族様との話し合いや、地域の方との情報交換の場を持ち、必要に応じて、医師等に報告している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、職員に周知徹底を図っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っているが、今後、地域の方にも参加していただけるように現在、検討中。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	動作1つ1つを、解りやすくきちんと説明する他、入居者様の名前を呼ぶ時には、「～様（さん）」と呼ぶ。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	「～しませんか？」と話しかけ、ご本人様の意向を伺うようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活に支障のない範囲で就寝していただき、起床は個別に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時など、更衣する時の着衣の洗濯の他、個別に使いやすい化粧品などを使っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	会話をしながらの他のご利用者様と食事をされている他、下前や食器拭きなどの家事援助を可能な範囲で参加頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	給食部の栄養士が、栄養のバランスを考えた献立を作成している。嗜好にあわせた飲み物を準備している他、食事量や水分量の確認・記録を行なっている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	提携医療機関の歯科医師や歯科衛生士からのアドバイスの元、個別に行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、その方にあった排泄ケアを行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に至った原因を探り、その方にあった予防策を実践し、必要に応じて往診医に相談し、下剤を検討していく		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴剤を使用するなどして、楽しい入浴を心がけている他、気が合う入居者様どうしの同時入浴も行っている		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	使い慣れた寝具を使用してもらったり、入居者様の生活リズムや意思を尊重している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご入居者様の個別の服薬ファイルを開覧し、把握している他、気になる事は、往診医や薬剤師に聞いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中での役割を大切にしている他、趣味の再現の場を提供している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在、日常的には行なえていないが、提起的に外出の機会を設けている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様からのご意向もあり、常時の所持は行っていないが、必要時に、必要な金額を預かり金から支出し、対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様の要望により、必要時に電話をかけたり出来る様に援助を行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の飾り付けを行っている。また、フロアや居室の温度管理については、ご入居者様の様子を見て、適宜調整している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室への自由な出入りと、自由に他のご利用者様への居室への訪問を勧めている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇やソファ、テレビ等、使い慣れた物を、入居時などにお持ちいただいている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所への手摺の設置や、車椅子用トイレの設置。また生活上、支障のない範囲での張り紙の設置		

(別紙4(2))

事業所名 グループホームみんなの家・横浜宮沢3

## 目標達成計画

作成日：平成25年2月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	フロアの電気が薄暗く、ご利用者様が塗り絵などをされる際、見難いとの訴えあり。	ご利用者様がくつろげる住環境を作っていく	法人本社の担当者と相談し、フロアの照明の増設等、ご利用者様のくつろげる空間作りを行っていく	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。